

歴代制服

大成裁縫女学校・水戸市大成女学校・大成高等女学校・大成女子高等学校



1909~

制服制定前

自由に着物羽織と袴を着用。

1924~

初代制服

紺サージの着物にえび茶の袴、黒の革靴。



1928~

セーラー服

夏は白地、冬は紺地でスカートは紺地の車ひだ。ネクタイは紺地で斜め二本の白線をつけた。

1941~

全国標準服

女学生の制服が全国同じ国民服のスタイルに統一。ヘチマ襟でベルト付き上着。下はスカートからモンペへ、靴から下駄へ変わっていった。



1909

1924

1928

1941

1953

1961

1975

2005



1953~

ポロジャケット

車ひだのジャンパースカートと白えりブラウス。

当時は戦後8年とはいえ物資が不足しており、布が少なくて済む形を、飛田先生始めとする被服の先生方で考えた結果、この形が採用された。

1961~

背広型ジャケット

車ヒダのジャンパースカートと白えりブラウス。

広く生徒の意見も取り入れ、決定。翌年冬には、オーバーの形・色も決定。



1975~

明るい紺のブレザー

共布ベスト、箱ヒダスカート、エンジリボンに変更。

2005~

現在の制服

チャコールグレーのブレザー、ニットベスト、チェックスカートまたはスラックス、カラーシャツ(3種)、リボン(2種)。

